

# 高野原町内会だより

高野原町内会  
平成29年  
9月20日発行  
防犯・防災特集

## 防犯講座・詐欺から身を守ろう

8月26日(土)高野原集会所ホールにて、防火防犯部・社会福祉部共催で防犯講座を開催しました。

講師として、セキュリティー会社ALSOK隊員の方をお迎えしお話を伺いました。

クイズ形式で、詐欺の傾向などの説明後に、いろいろな種類の詐欺の手口についてポイントを絞ってお話をいただきました。



防犯講座の様子

### 詐欺の手口は巧妙化しています

「オレオレ詐欺」の一例として、1回目の電話で「携帯壊れたので、番号変えたから。」と偽番号を登録させ、2回目の電話（既に息子の番号として登録済み）で「お金が必要になった」旨の電話をしていくこと。手口は巧妙化しています。

平成20年以降、ATMの利用限度額の制限や取扱中に防犯防止画面が登場するなどの対策で、件数こそ横ばいですが、手口が巧妙になり被害額は増えているそうです。

いくつかの詐欺等対策の例を挙げてみます。

#### 1) オレオレ詐欺策機能付き留守番電話の利用

詐欺師は、録音され証拠を残すことを嫌がります。このタイプの電話は効果的とのこと。

#### 2) 安易に相手の名前を呼ばない。

心理学的に、話しているうちに、知っている人を探して当てはめようとする傾向があるそうです。自分の息子に当てはめようとする、つい信じてしまいます。気を付けましょう。



3) 家族内で、合い言葉や家族しか知らないことを確認しておくこと。

この機会に家族で対策を話しておきましょう。離れている祖父母とのコミュニケーションも大切ですね。

4) 必ず確認・相談しましょう！

オレオレ詐欺→ATMに向かう前に 家族や息子さん本人に確認を！

架空請求詐欺→メールでの請求はほとんど無視して大丈夫とのこと。安易に返信しない。

※実在する会社であるかどうか？

電話番号確認ダイヤル「104」で確認する方法もあるそうです。

警察の相談番号「#9110」に電話して相談しましょう！

講座の最後には、AEDの使い方も紹介していただきました。



最近のAEDは、案内メッセージが流れるのでその通りやればできるよう。

注意点としては、

- ・体に貼るパッドを肌に密着させること。
  - ・2枚のパッドが心臓の位置を挟むようにすること。
- AEDの設置箇所を確認しておきましょう。

### 高野原町内会の広報活動について...

- 1) 回覧板
- 2) 各公園及び集会所前の掲示板
- 3) 緊急連絡や至急周知のお知らせ等はバス停に掲示することもあります。
- 4) ブログ「高野原へようこそ」、HP「高野原町内会だより」

ブログ→



HP→



※アイデアや情報提供、ご要望は...

5) 町内会メール：アイデアや情報をお寄せください。

takanoharatown@yahoo.co.jp

→



6) 班長さんや町内会役員まで。

# 平成29年度町内会 防災訓練を実施しました。

9月16日(土), 天候の心配もあってか? 昨年よりはだいぶ参加者が少ない中での開会でしたが, 宮城消防署の職員の皆さんのご指導のもと消火訓練や救出訓練を実施することができました。

## <消火訓練：消火器の使い方>



消防署の方より, 消火器の使い方の基本を教えてくださいました。消火器が力を発揮できるのは「15秒」とのこと。

- ・「黄色いピン」は, 消火直前に引き抜くこと!
- ・必ず背後に「出口」を確保して消火すること!
- ・ホースの先を持つこと!

(中間を持つと, 勢いに負けて不安定になり, 火元を狙えない。)

- ・(消火時) 力がなくて, レバーを強く握れないときは, 消火器を地面に設置してレバー上部に体重をかけるとよい。
- ・天井に炎が回っているときには, 消火器だけでは無理なので避難すること。 等々アドバイスをいただきました。



消火訓練では, 「火事だー!」のかけ声がなかなか出なかったり, 火元を想定した的(まど)になかなか当たらなかったりという場面もありましたが, 全員が体験することができました。



## <倒壊家屋想定・救出訓練>

地震で家屋が倒壊した想定で, 救出訓練も体験しました。



被害者に声を掛けて状況を確認後, 周囲の人と協力して倒壊物を運び出します。すき間を広げて救出します。(本人の健康状態と共に, 他に被害者がいないかも確認!)

救出訓練の最後に, 実際に消防隊員が下敷きになった状況での救助を体験しました。ダミー人形は数キログラムと軽かったので問題なく倒壊現場から救出できましたが, 70kg前後の隊員を引き出すには大人2人では難しく, さらに応援を頼みました。



ジャッキアップ!

今回の倒壊救助訓練では, タイヤ交換等で使用している「ジャッキ」を使って倒壊物を持ち上げる方法を教わりました。

最後に隊員の方から講話をいただき,

- ・通報の際, 「火事か救急か」「住所」「目標物」「名前, 病歴, 年齢」などを聞かれるので, 日頃から確認しておく。
- ・隣近所同士のコミュニケーションを密にしておき, 隣の人の家族構成などお互いに知っておくことも大切。
- ・家具の転倒防止対策を! L字金具などで固定しておく。
- ・食料備蓄や防災チェックをしておく
- ・火災報知器の設置, 点検を!



今回の訓練では, 昨年も参加している人も思い通りに動けなかったり, 初めての救出訓練で戸惑う場面も見られました。何度も繰り返して訓練して身につけていくことの大切さを感じました。

また, 町内の消防団員の方も参加いただき補助していただきました。地域の団員の方の存在は, 心強い限りです。

防災意識を高めていくことは大切です。今回は天候の心配もあり少なめの参加でしたが, 毎年訓練を積み重ねていきます。多くの皆様の参加をお願いします。

※消防署より, 11月から運用される救急相談「#7119」を紹介いただきました。救急車を呼んだ方が良いか迷ったときに電話してみてください。医師や看護師が対応して, アドバイスいただけるそうです。